

平成28年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
14	県立二本松工業高等学校	全日制

I 期選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒	選 抜 資 料				備 考
			志願理由書	調 査 書	面 接	そ の 他	
工業科 各科共通		<p>本校では、学業成績が優秀で、学習との両立を図りながら3年間、以下のいずれかの活動において継続した取り組みができる生徒を求めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに強い興味関心があり、各種コンテストに積極的に取り組む者。 ・資格取得に意欲的に取り組み、難関資格取得を目指す者。 ・運動部に所属し、上位大会を目指し努力する者。 ・生徒会活動に積極的に取り組み、リーダーとして活躍できる者。 <p>さらに各科においては、それぞれ次のような生徒を求める。</p>	<p>志望の動機及び将来への抱負などを本人が記入する。</p> <p>(各科共通)</p>	<p>各教科の学習の記録は135点満点、特別活動等の記録は65点満点とし、合計200点満点とする。</p> <p>(各科共通)</p>	<p>個人面接を実施する。面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容(国語、社会、数学、理科、英語)を含む。面接については、点数化する。</p> <p>(各科共通)</p>	<p>作文を実施する。与えられたテーマについて、400字程度にまとめる。作文については、段階評価する。</p> <p>(各科共通)</p>	
工業科 機械システム科	45% 程度	<p>機械システム科では、広く工業技術や機械に関する内容を学習する。また、工業技術の進展や諸問題に主体的に対応できる人間の育成を目指しており、次のような生徒を求める。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①機械に強い興味・関心を持っている者。 ②「ものづくり」にあたって、計画立案や設計が好きな者。 ③ロボットなどコンピュータを搭載した機械の原理・構造・制御などに興味関心を持っている者。 ④高校卒業後、機械関係の企業に就職しようと考えている者。 ⑤高校卒業後、工業系の大学に進学を希望する者。 					

平成28年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
14	県立二本松工業高等学校	全日制

工業科 情報システム科	45% 程度	<p>情報システム科では、電気・情報に関する基礎的な知識を学習する。また、2年次からはエレクトリック、コンピュータの2コースに分かれ、社会で活躍する技術者の育成を目指しており、次のような生徒を求める。</p> <p>①ICT等の新技術を活用できる能力を身につけたいと考えている者。 ②コンピュータを活用した技術に興味・関心があり、制御・ネットワーク技術を習得したいと考えている者。 ③電気工事・パワーエレクトロニクスに関する技術を習得したいと考えている者。 ④高校卒業後、電気・情報・製造関係の企業に就職しようと考えている者。 ⑤高校卒業後、工業系の大学に進学を希望する者。</p>						
工業科 都市システム科	45% 程度	<p>都市システム科では、私たちが住みやすい快適で安全な都市づくりをするための土木技術を学習する。また、新しい技術に適応できる能力を備えた技術者の育成を目指しており、次のような生徒を求める。</p> <p>①測量・設計や都市計画、都市開発、環境保全に関心がある者。 ②道路や橋などを造る土木技術者になりたい者。 ③高校卒業後、建設関係の企業に就職または土木職公務員を希望する者。 ④高校卒業後、工業系の大学に進学を希望する者。</p>						

平成28年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙 2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
14	県立二本松工業高等学校	全日制

Ⅱ期選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	面 接		
工業科 機械システム科	(80)	5教科とする。	各教科の学習の記録は195点満点、特別活動等の記録は55点満点とし、合計250点満点とする。	個人面接を実施する。 面接については、段階評価する。	同等とする。	
工業科 情報システム科	(40)					
工業科 都市システム科	(40)					

Ⅲ期選抜

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文(作文)	
工業科 機械システム科 情報システム科 都市システム科	各教科の学習の記録は135点満点、特別活動等の記録は65点満点とし、合計200点満点とする。	個人面接を実施する。 面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容(国語、社会、数学、理科、英語)を含む。 面接については、点数化する。	作文を実施する。 与えられたテーマについて、400字程度にまとめる。 作文については、段階評価する。	